

## 東京都都市緑化基金に関するアンケート結果

### ◆調査方法

期間：10月22日、23日、25日、26日、28日、29日、30日

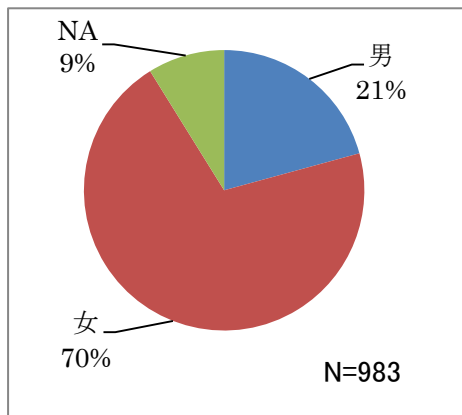
場所：「日比谷公園ガーデニングショー2016」東京都都市緑化基金(東京都公園協会)出展テント

回答枚数：983人

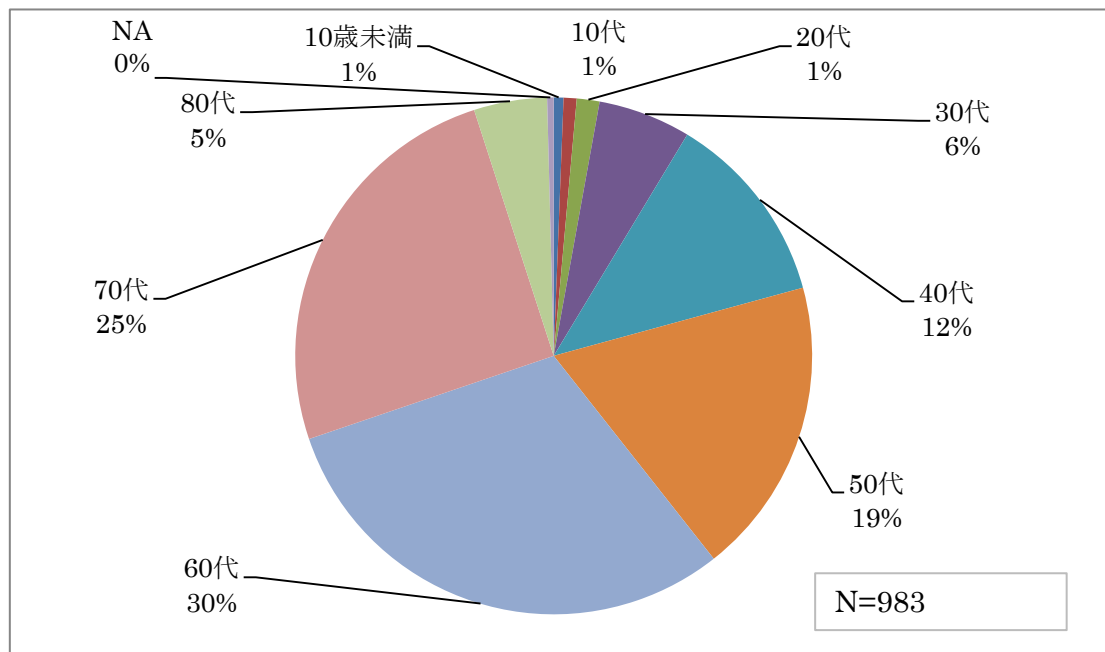
### (1)対象者の属性

女性の割合が70%。年齢層は、60代が3割、70代が2.5割を占め、60代以上の来場者が約6割。

Q. 性別



Q. 年齢

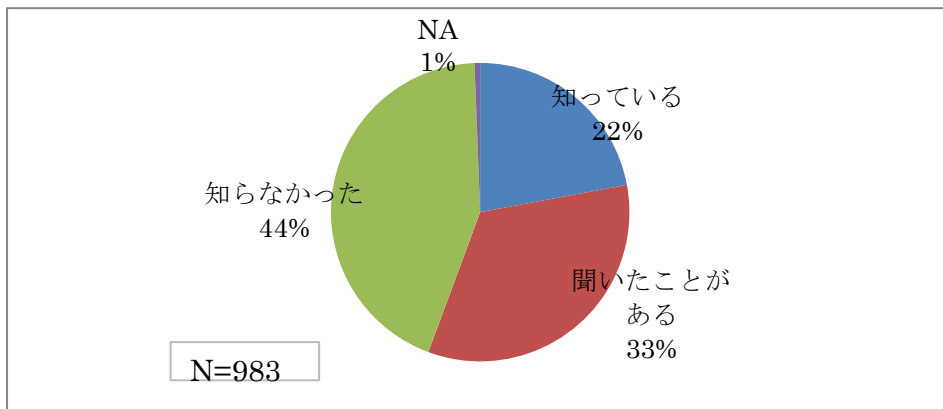


## (2) 事業の認知度

### ●東京都都市緑化基金の認知度（有効回答数 n=977）

「知っている」、「聞いたことがある」が合わせて55%となっている。

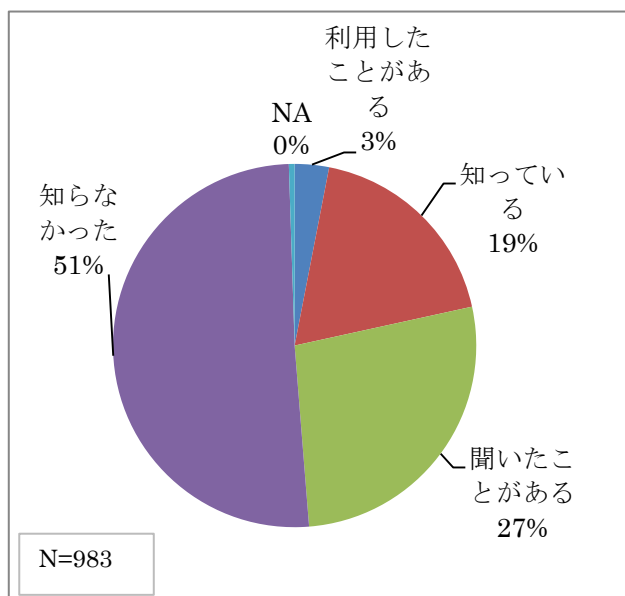
Q. 東京都都市緑化基金のことをご存じでしたか



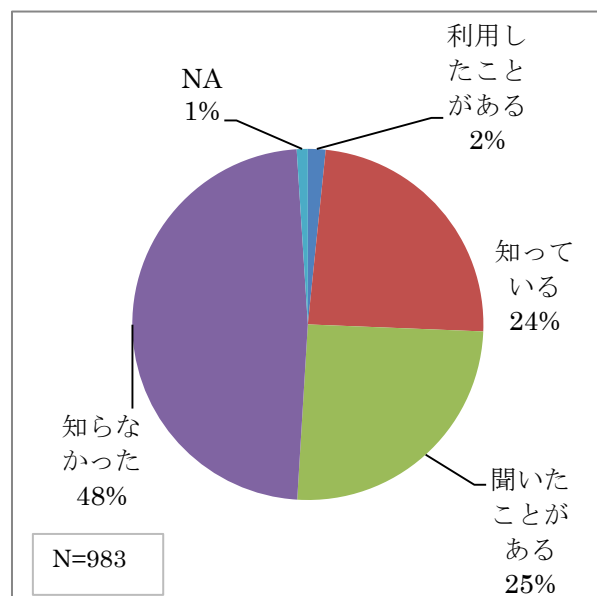
### ●『街かど緑化支援事業』『花壇・庭づくり活動支援事業』の認知度

街かど緑化支援事業、花壇庭づくり支援事業ともに、「知っている」「聞いたことがある」「利用したことがある」が合わせて約5割という結果になった。

Q. 東京都都市緑化基金が、都民への公開性や景観向上など緑化効果の高い民間施設に緑化工事費の一部を助成する『街かど緑化支援事業』をご存じですか



Q. 東京都都市緑化基金が、公共の場で花壇づくりを行うボランティア団体や小中学校での緑に関する活動費を助成する「花壇・庭づくり活動支援事業」をご存知ですか



### (3) 東京の緑に対する意識

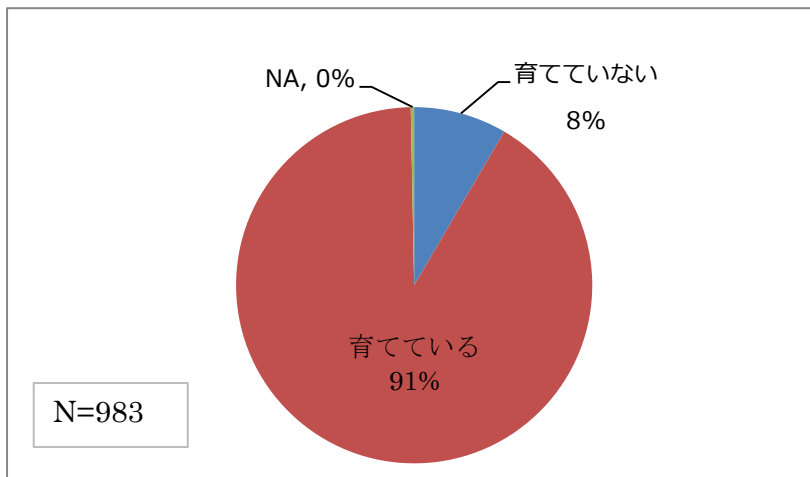
植物を育てていると回答された方が約9割。

そのうち、「花を育てている」と回答した方が6割、また、「花も野菜も育てている」と複数の植物栽培を回答された方も多かった。その他では、サボテンなどの多肉植物、果樹類などの回答があった。

育てる場所としては「庭」「ベランダ」がほぼ同数となった。その他では「畑、家庭菜園」と答える方が多かった。

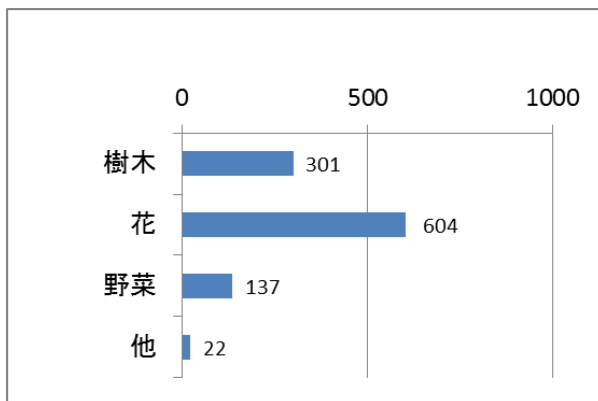
集合住宅が進む東京でも、工夫をしながら育てている状況が見られる。

Q. 今、自宅で植物を育てていますか。

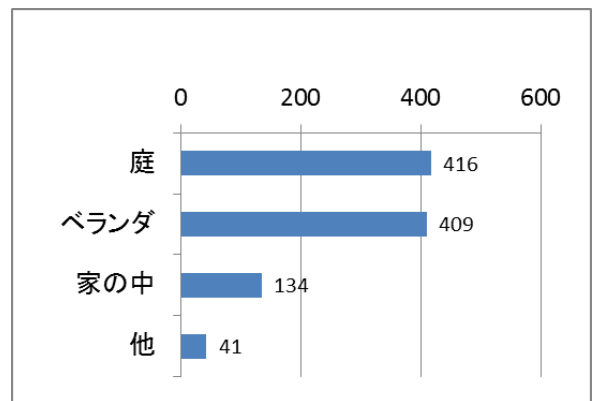


参考 平成20年住宅都市統計調査（国税庁）では、東京都の共同住宅率は(69.6%)

Q. なにをどこで育てていますか。



Q. どこで育てていますか。



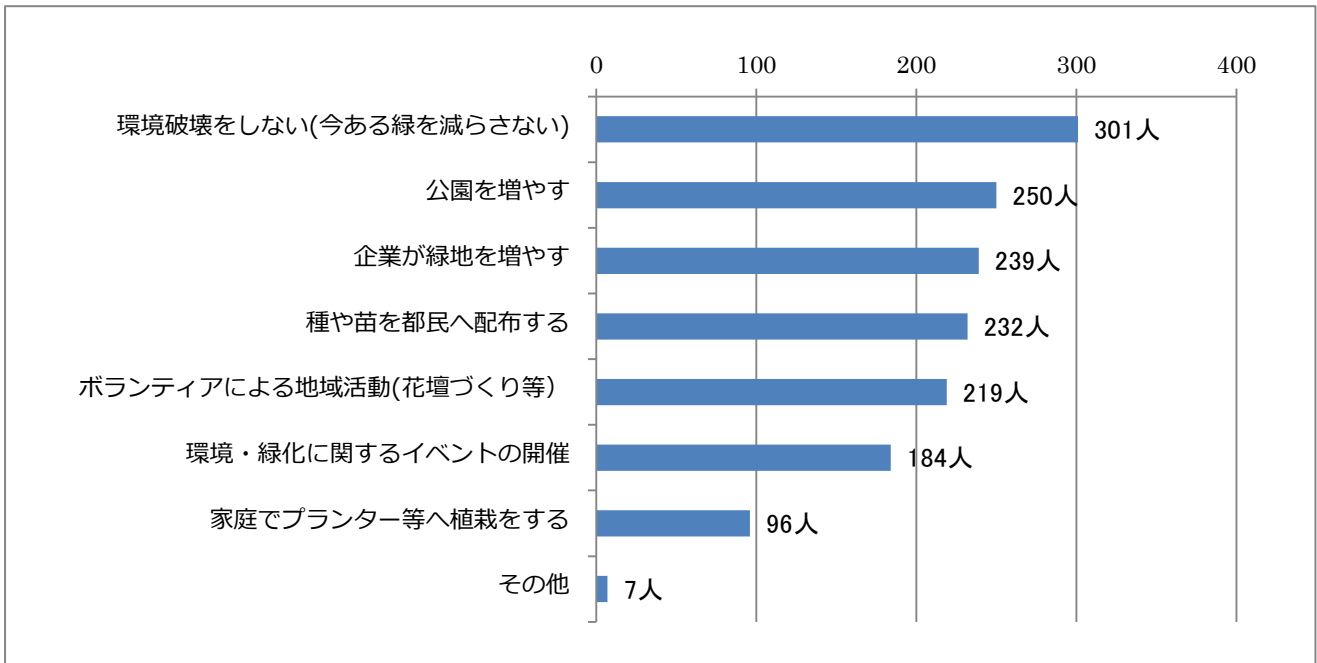
### ●東京の緑化に必要な施策について

「環境破壊をしない(今ある緑を減らさない)」という保全への意見がもっとも多かった。

次には、「公園を増やす」「企業が緑地を増やす」といった、行政の施策等に期待する声が続いた。

また、「種苗配布」や「ボランティアによる地域活動」「イベント開催」といったソフト面での期待もあり、都民がより参加しやすい活動を求めている様子も見られる。

Q. 緑が増えていくには、どんなことに取り組むのがいいと思いますか。(複数回答)

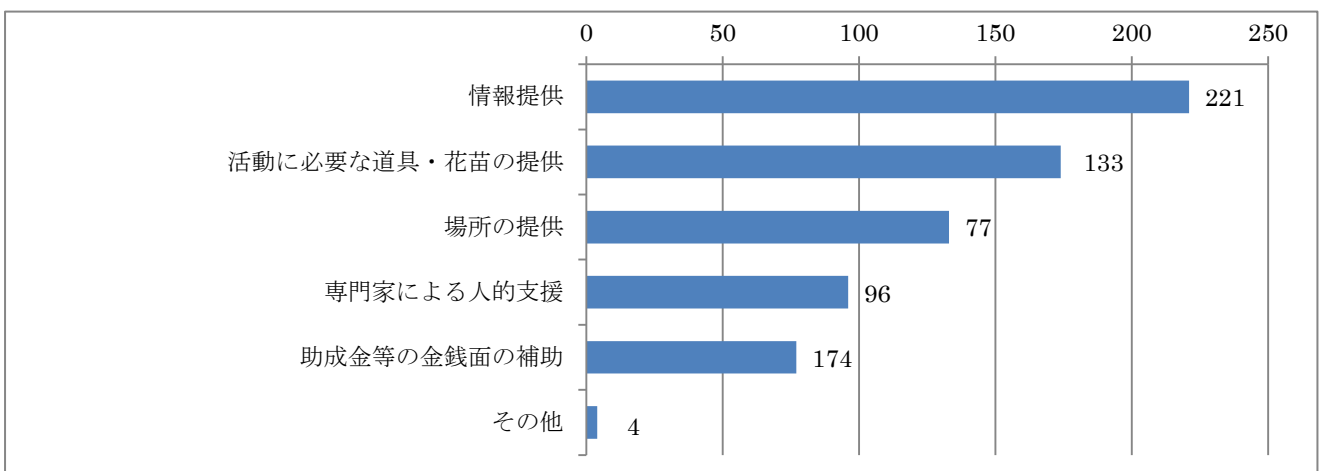


### ●緑化活動への援助

「情報提供」を挙げる方が多く、緑化活動に取り組む入口を求めている方が多い。

「助成金」資金提供よりも、「道具花苗の提供」「専門家の人的支援」といった材料や知識での支援を求める回答が多かった。

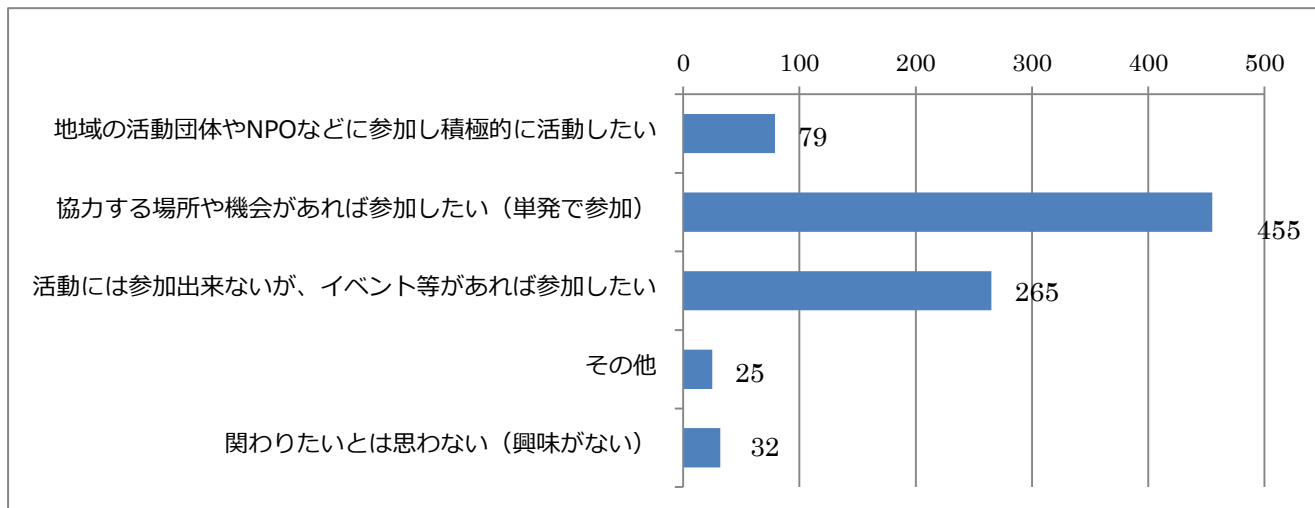
Q. あなたが緑化活動する場合、どんな援助があるとよいと思いますか。



## ● 緑化活動への参加

「場所機会があれば」という回答は、アンケート回答者の半数に上り、高い意欲を示している。情報提供をしつつ、参加の機会を提供していくことにニーズが高いと思われる。

Q. 緑化活動(地域や駅前の花壇づくり等)に関わりたいと思いますか。関わるとしたらどのように関わりたいですか。



## ● 緑化活動への参加場所

「身近な公園」との回答が572人と多く、近くで手軽に参加できるニーズが高いことがうかがえる。

Q. 緑化活動に参加するならどんな場所での活動に参加したいですか。(複数回答)

